潮来市立延方小学校(NOBUKATA　ELEMENTARY　SCHOOL) 学校便り　　2022．2．4発行

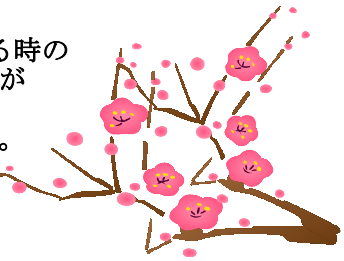
のぶっ子

Tel:
Fax:
E-mail:

第11号
児童数334名
(男184名
女150名)

【延方小スローガン】　3つのCで笑顔の延小
Challenge ・ Change ・ Communication
(チャレンジ ・ チェンジ ・ コミュニケーション)

節目の時を迎えて



昨日２月３日は節分の日でした。「節分」は、本来、季節が移り変わる時の意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指しています。その中で立春が1年の初めと考えられることから、「節分」といえば春の節分を示すものとなってきたそうです。また、豆まきをするご家庭もあるかと思います。節分に豆まきをするのは，季節の変わり目に邪気が入りやすいと思われていて，新しい春を迎える前に邪気を払って幸福を呼び込むために宮中祭祀として行われていたものが始まりと言われています。私たちの心の中にいる鬼を退治し，みんなが幸せな一年になることを願っています。

さて、オミクロン株の影響により臨時休校が続いております。児童のがんばりと保護者の皆様のご協力によりオンライン学習ができておりますが、２月14日（月）から学校が再開し、対面による授業､卒業式をはじめとする各学年の締めくくりの行事が予定通り実施できることを願っています。

１・2月の活動より

【不審者避難訓練】

【いのちの授業】

１月21日(金)、スクールサポーターの先生をお招きして不審者を想定した避難訓練を実施（１～３年生は５校時、４～６年生は６校時）しました。まず，スクールサポーターの方が不審者役をしてくださり、教職員が子供への接近を防ぐ訓練をしました。その間に子供たちは体育館に避難し、続いて防犯教室が開かれました。皆藤先生からは不審者に遭遇したときの注意「いかのおすし（ついて行かない、乗らない、大声を出す、すぐ逃げる、知らせる）等、自分の命を守るための大切なお話をいただきました。４～６年生には「SNS に潜む危険」に関するお話もいただきました。学校でも引き続き不審者に遭遇してしまった時の適切な行動についてご家庭と連携しながら指導していきます。

２月１日(火)、龍ケ崎済生会病院産婦人科医の陳央仁先生をお招きし、５・６年生と保護者の方を対象に「生命の誕生とその大切さ」～自分らしく生きる・君は愛されるために生まれた～と題し、オンラインによる『いのちの授業』を行っていただきました。陳先生は動画やクイズを交え、「命の誕生・胎児の成長」「障害や病気があっても前向きに生きている人の話」「自分らしく生きること」等について分かりやすくお話くださいました。笑み、驚き、そして感動のある時間となりました。
(児童の感想を裏面に載せてあります)

２月の主な予定

1/31～2/10臨時休校　(オンライン学習)
１日(火)５・６年性教育講演会(オンライン)
４日(金)入学説明会
１１日(金)建国記念の日(祝日)
２３日(水)天皇誕生日(祝日)
２５日(金)学年末授業参観
・懇談会
２８日(月)登校班編制会議

３月の主な予定

３日(木)６年生を送る会
７日(月)～１１日(金)
学年末事務処理期間
２１日(月)春分の日(祝日)
２３日(水)卒業証書授与式
２４日(木)修了式
３１日(木)離任式
３月２５日(金)～４月５日(火)春休み

お知らせ

○　学校評価アンケートの結果について
昨年12月実施の学校評価アンケートでは、大変お世話になりました。今年度の本校の教育活動や教育目標の達成状況の成果と課題の分析に活用させていただきました。結果を配信メールにてお知らせしますのでご確認ください。また、今後予定されております学校関係者評価委員会でも結果を提示してご意見等をいただき、今後につなげていきます。

『いのちの授業』～子供たちの声の紹介～

（５年生）

数々のキセキで自分がいるということが分かりました。そして，自分らしく生きるために「支えながら、支えられながら生きていく」ということがすごく心に残りました。それに、少年のケニーやプロジェリアという病気のアシュリーがすごくきぼうにみちていてすごいなと思いました。ぼくは自分らしく生きるために今ここにいることがキセキなんだと思いながら、苦しいことや辛いことがあっても前を向いて生きていきたいと思います。

（５年生）

どうして命が大切になってくるのか、どうやって赤ちゃんが誕生するのかなど、いろいろなぎ問について陳先生がくわしく教えてくれて、とても分かりやすかったです。また、赤ちゃんが生まれたときの親の気持ちや、親がどんなふうにがんばって赤ちゃんが生まれてくるのを待っているかも分かりました。その他、命のキセキについて知って感心しました。

そして、自分の命の大切さについても考えることができました。誕生日や日ごろからお母さんに「産んでくれてありがとう」と感謝の言葉を言いたいと思います。

（６年生）

今日は、「生命の誕生とその大切さ」について知りました。私は５年生のとき、理科の授業で「精子と卵子が受精し、受精卵（生命の誕生）となる」ということを習ったけど、今日のお話を聞いて、生命の誕生は総理大臣になるよりも難しいと知りとてもおどろきました。そして、受精卵が出来るのは、「親の愛が性を通して生み出したキセキ！」なので、私たちはキセキの子なんだなあと思いました。さらに私は４人兄弟なので、私のお父さんとお母さんは４回もキセキをおこしてくれて、丁寧に育ててくれたと思うと、とても感謝の気持ちでいっぱいになりました。私たちの命は、命のリレーでもあるので、バトンを次へしっかりつなげられるように、辛いことがあっても、一歩のりこえれば幸せが待っていると信じ、どんなときでもがんばっていきたいです。

これからは、～自分らしく生きること～

～私は愛されるために生まれたこと～

を絶対に忘れず、「生命の誕生とその大切さ」をしっかり理解して過ごしていきたいです。

（６年生）

陳先生のお話を聞いて、命はキセキの連続でお母さんの愛があったからこそ、私が生まれ、命がつながっているんだなと思いました。また、ケニーのお話を聞いて、たとえ人と違くても自分らしく生きたいと思いました。私は、ケニーのように「自分だけ違って何が悪い」「自分らしく生きることができればそれでいい」という思考ではありません。でも、今からケニーのような思考に変えられるようにがんばりたいです。さらに、アシュリーのような生きたくても、病気で生きられない人がいてその命を、その人達の分も命をつなぐために私は楽しく私らしく生きたいと思います。陳先生は、ケニーとアシュリーのお話だけでなく、母と父の努力や愛の話も最初と最後にしていました。天使（命）が生まれるには、２～３億分の１の確率で先祖の人たちがしっかりと命をつないでいかないといけないそうです。お母さんは、愛があるからどんなに痛いこともがまんできると先生は言っていました。命の道はとてもけわしいけれど、お母さんが命をつないでくれたなら、私もつなぎたいです。先生の話をふまえて、母に「産んでくれてありがとう」と伝えたいです。将来の夢のこうほの中に、陳先生のような命の大切さを伝える人もいれたいです。